

令和元年度 第5回霧島市中小零細企業振興会議（議事要旨）

開催日時	令和元年10月7日（月）15:00～16:40	
開催場所	霧島市役所行政庁舎別館中会議室	
出席者	委員	今給黎 正己 委員、重久 真一 委員、津田和 亨 委員、植山 吉将 委員、山田 まゆみ 委員、西重 保 委員、酒匂 亮一 委員、小池 建一郎 委員、小川 貴弘 委員、前田 義朗 委員
	事務局	武田 商工観光部長、池田 商工振興課長、梶 主幹兼商工観光政策グループ長、飛松サブリーダー、山中 主任主事、宮之原 主事
<p><b>会次第</b></p> <p>1 開会</p> <p>2 報告</p> <p>（1）第4回霧島市中小零細企業振興会議</p> <p>（2）第1回提言書取り組み評価検討部会</p> <p>3 議事</p> <p>（1）提言書取り組み評価検討</p> <p>（2）令和元年度の会議内容および計画等</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>		
<p>1 開会</p> <p>2 報告</p> <p>（1）第4回霧島市中小零細企業振興会議</p> <p>新たな委員や事務局職員の紹介後、議事では、商工振興課関係の平成30年度事業実績及び令和元年度事業計画について報告。今年度の会議内容等として提言書の取組状況の評価検討を行うこと、そのための作業部会の開催の承認。部会員の選任。</p> <p>（2）第1回提言書取り組み評価検討部会</p> <p>部会長から報告。（大山委員が辞退。重久委員に依頼。）</p> <p>事前に事務局が提言内容に対する市及び関係機関の取組状況をまとめた資料をもとに、取組状況等の記載内容の確認や追加等を行った。第2回部会で第5回会議における意見を踏まえた提言書取り組みに対する評価等をまとめ、第6回会議で報告することとしたい。</p> <p>3 議事</p> <p>（1）提言書取り組み評価検討</p> <p><b>【要旨】</b></p> <p>提言書の体系を再度説明し、その後、別紙の第1回部会で整理した資料に基づき、提言書の取組状況を説明。その後、2グループに分かれ、テーマごとに段階評価等を協議。今回の意見は第2回部会でのまとめに反映する。主な意見等は以下の通り。</p>		

## 提言書 6 分類ごとの主な委員意見等

### (1) - 1 魅力ある企業づくりへの支援

【重点目標に対する評価】 B

【新たな取り組みや支援策】 【その他】

- ・他の自治体と同じ制度であれば企業としてはどこでも同じ。起業（企業立地）してもらうためには、財源確保の検討は必要だが、固定資産税の優遇制度を継続するなど、霧島市の特色を出すことも必要である。
- ・起業時の設備投資には費用がかかる。霧島市独自の制度があると霧島市を選んでもらいやすい。
- ・様々な制度の情報量が少ない。広報に力を入れる。
- ・各業界の大規模な展示会への参加を促すための出展補助（経費の大半以上を補助）
- ・中小零細企業持続化支援事業は、県内でも実施している市町村はない。
- ・商工業資金利子補給事業は他市と比較しても 2% は非常に手厚い。
- ・国が進めている先端設備等導入事業計画を霧島市はいち早く手を挙げ認定を受けた。
- ・経営基盤強化の取組は充実していると感じる。
- ・補助事業申請時に、このような目的の補助金なので、このような報告をしてもらいますというように、申請者にどのくらいの作業量でどのくらいの金額を受け取れるかわかるといい。  
(サンプル例があると、申請者が増えるのではないか)

### (1) - 2 魅力ある企業づくりへの支援

【重点目標に対する評価】 B～C

【新たな取り組みや支援策】 【その他】

- ・家賃補助制度で居酒屋等も対象とするなどの拡充を検討して欲しい。小売店はもとより飲食店も減少して空き店舗が増加している。
- ・他の地域にない霧島市独自の創業メリット・他市との差別化（補助率、業種要件の見直し等）を打ち出して、創業したい人を呼び込む必要がある。まちに活気がうまれる。
- ・セミナー受講者がすぐ創業するわけではない。継続していく必要がある。霧島市は創業件数が増えてきている。サービス業、若い世代が多い。
- ・現在「③創業者に限定した市広報媒体を活用した PR 制度の創設」の取り組みは無いが、市報等で無料でオープン（創業）を知らせてはどうか。
- ・空き店舗等ストックバンク事業の平成 30 年度の申請件数が 12 件は、はるかに少ない。空き店舗登録数が多ければ、見てみようと思うのでは。不動産業者との連携がとれたら、いっきに増えるのではないか。

### (2) - 1 霧島の強み、ポテンシャルを活かした取組への支援

【重点目標に対する評価】 A～B

【新たな取り組みや支援策】 【その他】

- ・霧島茶を含めた霧島市の特産品のブースを空港などに設けるなど露出を増やす。
- ・販路拡大、催事支援補助が手厚く、手出し無しで商談会等に参加できる市町村もあるときく。霧島市でも充実してはどうか。

⇒ 平成 28 年度から 3 年間、新市場開拓支援事業を行っていた。平成 28、29 年度は商談会が増えていた時期であり、あまり出展したことがない事業者に参加してもらいたいと始めたが、平成 30 年度は補助利用者が減った。霧島商工会議所、霧島市商工会、産業支援センター等も同じような制度、メニューが増えてきたことが減った要因ではないか。今後はそれらを活用していただけたらと考えている。市としては、まずは、産品や製品のブランド力を上げていく事業に特化して、霧島ガストロノミーであったり、農業の「稼ぐ力」向上プロジェクト推進事業に取り組んでいる。

#### (2) - 2 霧島の強み、ポテンシャルを活かした取組への支援

【重点目標に対する評価】 C

【新たな取り組みや支援策】【その他】

- ・霧島市は、行政が関わらない、(市民主体の)川沿いの広場や森の中等、自然の中の雰囲気もよいイベントが多いと感じる。県央でも集まりやすい。これこそ、霧島のポテンシャルだと思う。市としては、このようなイベントが発展していて継続していることを認知し、後押しをしていきたいという意識が無いといけないと思う。SNSを活用してPRしているのと思うが、広報誌等でも今後も継続して紹介するなど情報発信を支援してほしい。
- ・(イベントでは)趣味で作った物を売っている。お店を持たない事業者が増えている。市としては、まちなかで店舗を構えてほしい。創業支援と結び付けたい。
- ・若者が集まるようなイベントが多いことは、若い人が霧島市に住みたいと思うきっかけになると思う。

#### (3) - 1 霧島の産業を支える人材の確保・育成への支援

【重点目標に対する評価】 B

【新たな取り組みや支援策】【その他】

- ・「霧島しごと維新」は、地元企業を子ども自身に知ってもらうだけではなく、学校の先生や保護者を交えた事業であり、今後もこのような取組はとて素晴らしい事業なので必要であると思う。
- ・条件付返還免除型奨学金について知人から何件か聞いた。わが子に地元に戻ってきてほしいと思う人は多いのだと思った。霧島市の特徴なのでもっとPRしてはどうか。
- ・霧島市の地元企業を紹介する機会を継続して行う必要がある。
- ・現状、人材確保が大変である。人手不足で、働き手の感覚が、変わってきている。
- ・10月から最低賃金が上がり、企業の負担が増えている。

#### (4) - 1 振興会議を中心とした取組の推進

【重点目標に対する評価】 C~D

【新たな取り組みや支援策】【その他】

- ・会議の一番の目的は中小零細企業の底上げであり、1円でも2円でも売上を上げられる協議ができればよいという意見もあつたうえで、可能な面で大企業も支援ができないか検討し、販売場所を市へ提案したが、何もできていない。

(2) 令和元年度の会議内容および計画等

**【要旨】**

令和元年度予定は以下の通り。(承認)

- ・ 提言書取り組み評価検討部会 1回 (11月以降)
- ・ 運営部会 1回 (~1月)  
第2期会議報告のまとめ、第3期の会議方針の協議等
- ・ 第6回振興会議  
提言書の取組状況の報告を受けての評価検討の協議、運営部会報告を受けての協議等

**主な委員意見等**

**【委員】**

- ・ 特になし

4 その他

**【事務局】**

- ・ 次回の第6回中小零細企業振興会議は、昨年度の開催状況を見ながら2月頃を中心に事前に日程確認の上、開催日程を決定。その他部会は、部会長を中心に日程調整をし、開催予定。

5 閉会